



「Ovotestis (卵精巢)」

(右上方に卵巣、左下方に精巣組織を共有する)

名誉院長 西 田 敬

めでた
目出度く誕生の際、親が「イ」の一番
に気にするのは矢張り、生まれてくる、
我が子の性別。男女は問わないが、産着
うぶぎ
から用意して待ちかねている。単一の性
腺内に卵巣、^{あるい}或は精巣の組織が混在、共
存する。これをovotestisという。以前は
しんせいはんいんよう
真性半陰陽と称した。^{かくかた}核型では46XXが
61.6%,46XYが12.8%,46XX/46,XYが14.4%
という頻度^{ほんぼう}が本邦では報告されている。
ところで動物の雌雄の決定因子は様々^{さまざま}
ヒトでは今のところ、Y chromosomeの

有無だがOxford大学のBryan Sykes教授
の御託宣^{ごたくせん}ではY染色体は、西暦5000年に
は磨滅^{まめつ}して消失・失効^{しつこう}する。さすればヒ
トの雌雄の決定や如何に決定されるか？
案^{あん}ずるには及ばぬ。Y染色体は雄性の唯
一の雄決定因子ではない。広く動物界を
みわた
見渡せば受精卵の^{ふか}孵化時の気温に左右さ
れる海亀やMississippi鱐^{わに}などが明かであ
る。即ち、亀の場合、34°Cに近ければ全^{すべ}
て雌になり、26°Cに近ければすべて雄に
なる。一方、鱐^{わに}では逆で、温度が高いと
全て雄で、低いと雌で孵化する。病理組
織像も、あのepoch makingな婦人科病理
教科書、AFIP^{べいこくりくぐんけんきゅうしょびょうりふ}(米国陸軍研究所病理部)が
記載するまで、必ずしも、病理所見^{つまび}は詳
らかではなかった。改めて詳細に観察す
れば一枚のプレパラート上に精巣と卵巣
の組織が識別可能である。(右上に卵巣の
皮質成分、左下方は精巣-^{せいさいかん}精細管-成分)
(本症例は第72回済生会学会にて紹介予定
である)

